帯状疱疹ワクチン
取り扱っています

50歳を過ぎたら帯状疱疹(たいじょうほうしん)の予防接種ができます。

日本人成人の90%以上は、
帯状疱疹の原因となるウイルスが
体内に潜んでいて[1)]、
80歳までに約3人に1人が
帯状疱疹になるといわれています[2)]。

1) 国立感染症研究所：病原微生物検出情報 (IASR).「水痘抗体保有状況」
[https://www.niid.go.jp/niid/ja/y-graphs/8132-varicella-yosoku-serum2017.html, 2019 年3月13日確認]
2) Shiraki K. et al.: Open Forum Infect Dis. 4(1), ofx007, 2017

【編集協力】 愛知医科大学 皮膚科学講座 教授 渡辺大輔 先生

帯状疱疹の予防接種をご希望の方は当院にご相談ください。

2023年8月1日から
八王子自治体助成が使用できます

帯状疱疹とは

①加齢による免疫力低下
②疲労　③ストレス　④基礎疾患
により**水痘ウイルスが再活性化**し、
身体の一部に激烈な**痛みを伴う**
皮疹が生じます。※1

↓

疼痛が慢性化することもあります

帯状疱疹ワクチン

対象　50歳以上
目的　帯状疱疹の発症予防
(水ぼうそう予防ではありません)
接種薬剤　「シングリックス筋注用」
有効性　50歳以上で97%　70歳以上で90%
接種方法　筋肉注射
接種回数　2回（2カ月間隔　最大6カ月迄）
費用（1回）　自費¥11,000　（自治体助成あり）
要予約（助成なしは￥22,000）

接種を希望される方は医師にご相談ください。
あわせて次ページ説明事項もご覧ください。

※1 Hata A. et al.:infection. 39(6) 537-544, 2011

クリニック田島
CLINIC TAJIMA

帯状疱疹ワクチン
説明事項

副反応

局所(注射部位)・・・疼痛77%、発赤40%、腫脹22%
全身　　・・・筋肉痛48%、疲労41%、頭痛35%
※稀に重大な副反応(ｼｮｯｸ,ｱﾅﾌｨﾗｷｼｰ)があります

接種できない方

①発熱(37.5℃以上)している方　②急性疾患に罹患中の方
③このワクチンの成分でアナフィラキシーを起こした方
④その他、医師により不適当と判断された方

接種可能か医師に相談が必要な方

①基礎疾患のある方　②過去にけいれんを起こした方
③予防接種でアレルギー歴のある、又はその恐れがある方
④本人・血縁に免疫不全と診断されたことのある方
⑤血小板が少ない・出血しやすい方　⑥妊娠中・授乳中の方

接種後の注意

①接種後よく体調を観察してください
②当日は激しい運動を避けてください。入浴は可能です
③異変を感じたら医師の診察を受けてください

他ワクチンとの間隔

①生ワクチン・不活化ワクチン・・・間隔設定不要
②新型コロナワクチン　　・・・前後2週間あける

※メーカー添付文章より抜粋し改変

クリニック田島
CLINIC TAJIMA